

寿

寺報寿光
平成28年3月

編集 富田 謙雄
発行 寿光会
宗 土 雪
浄 土

第四十号

“維持費値上げのお願い”

常日頃、大雲寺興隆のため多大なるご尽力を賜り誠にありがとうございます。今の大雲寺が存続出来たのも、壇信徒一人一人の皆様のお力添えがあればこそと深く感謝を申し上げます。平成に入り時代の流れと共に、諸物価並びに人件費の高騰等により、寺院経営も困難を極めることになりました。

維持費の使途は、檀家の皆様の墓地の清掃と植木の手入れ、建物や境内駐車場のメンテナンス、ゴミの処理、諸設備の修理、光熱費等に使われます。ご存じのように新本堂庫裏の建築、寺院駐車場の拡大により従来の何倍もの費用を費やすことになりました。現在の維持費は三十二年間一度も見直しをしております。何とぞ現状を鑑み、この度の値上げの程宜しくお願い申し上げます。

新しい維持費については、皆様方の墓地の大きさ、植木の有無、ご先祖さまの法名等により判断し値上げの金額を決定させて頂きます。

尚、少子化時代に入り檀家の数も減少し、寺院の収入も減っております。そこで寺院北側の駐車場を利用し、永代供養塔を建立し浄土の庭としてお花畑を造成し、檀家の皆様と近隣の皆様方の憩いの場所を作りたいたいと思っております。この費用は寺の備金で処理致しますが、今後多少の維持費も生じますので何とぞ皆様

のご理解のもと今回の維持費値上げの件宜しくご了承のほどお願い申し上げます。

維持費の納入についてはお盆様の時では受付が混雑致しますので、観音様の縁日、春秋のお彼岸、施餓鬼会、法事又はお墓参りの時にお持ち頂ければ幸甚に存じます。尚、分割納入も受付ますので宜しくお願い申し上げます。

“観音様ご縁日”

ぼけ封じ観音のご縁日がやってまいりました。本年度第二十七回目を迎えますが、今年も盛大に挙行いたしたいと思っておりますので、ぜひ皆様方のご協力の程宜しくお願い申し上げます。

記

日 時 平成二十八年四月九日(土) 十一時より

場 所 大雲寺本堂にてご祈願

奉納料 一名さま三千元以上

*当日は皆様方のぼけ封じとご長命の為に祈願法要を修行いたします。今年開催日が土曜日ですのでお間違いないように、皆様お誘い合わせの上是非ともご参拝下さいませようお願い申し上げます。尚、同封いたしました申込書にご記入の上四月三日までにお知らせいただきますようお願いいたします。

“平成二十八年度年回表”

耆周忌	平成二十七年亡
三回忌	平成二十六年亡
七回忌	平成二十二年亡
十三回忌	平成十六年亡
十七回忌	平成十二年亡
二十三回忌	平成六年亡
二十七回忌	平成二年亡
三十三回忌	昭和五十九年亡
三十七回忌	昭和五十五年亡
五十回忌	昭和四十二年亡
百回忌	大正六亡

*ご先祖様の御供養をいたしませう。

“平成二十八年度寺院行事予定”

二月 九日(火)	大雲寺世話人新年会
三月十一日(金)	大雲寺世話人会
三月十七日(木)	三月二十三日(水) 春彼岸
四月 三日(日)	御詠歌奉納(増上寺)
四月 九日(土)	ぼけ封じ観音ご縁日
六月 五日(日)	大施餓鬼会
七月十三日(月)	く十六日(土) 東京お盆
八月十三日(木)	く十六日(火) お盆様
八月十八日(木)	とうろう流し(秋山川)
九月十九日(日)	く二十五日(土) 秋彼岸
十月上旬	大雲寺第二回書道展
一月 一日(日)	新年 大法 要

“今月の言葉”

有難う、心に言葉に行動に

感謝をされるとそれだけでうれしいもの。その喜びを周りの人にも

“仏具代等ご寄進ご芳名”

一、金百万円(永代供養)	石倉 幸子殿
一、金百万円(永代供養)	井上タマ子殿
一、金五十万円(永代供養)	腰塚家 殿
一、金三十万円	藤井 久子殿
一、金十万円	田村 一幸殿
一、金五万円	田牧 友二殿
一、金三万円	小林 誠一殿
一、金二万円	小林 貞雄殿
一、金二万円	谷村 トシ殿
一、京三彩飾壺並びに十三仏掛軸	須長 君江殿
一、本堂畳一式	石倉 幸子殿
	梅澤 一雄殿
	梅澤 健二殿
一、本堂内陣高座畳並びに行事用ゴザ	梅澤 健二殿
	梅澤 健二殿
一、裏門木戸塗装一式	前出 明子殿

※有難うございました心より感謝申し上げます

”お知らせ“

●世話人の板橋孝治様が退職されました、今までのご尽力大変有難うございました。後任として関口勝様が推薦されましたので宜しくお願ひ申し上げます。

●富田龍道君が今年大正大学に入学致します。

●大雲寺三十五世住職を目指しますのでご指導のほど宜しくお願ひ申し上げます。

●書道教室(研映社書き方クラブ)

毎週水曜日 午前十時より 一般の方

土曜日 午後一時より六時 子ども

日曜日 午前八時半より十二時 子ども

●詠唱会(御詠歌)

水曜日午後一時半より三時まで

終了後お茶をしながら楽しい時間を過ごしています。どうぞお仲間。